



古小だより

瀬戸内町立古仁屋小学校

【学校訓】
つよく・正しく・美しく

令和6年11月11日発行

☆右の二次元
コードから学校
のHPがご覧い
ただけます。



- ◇ 11月生活目標
「時間を守って生活しよう」
- ◇ 11月保健目標
「歯と口の健康について考えよう」
- ※ご家庭でも取り組ませてください。

励ます言葉や感謝の言葉を！

校長 岩本 博裕

朝晩の涼しさを感じる季節となり、早いもので2学期も折り返しを迎えました。

校庭に「頑張れ」「走れ」の声が響き渡った運動会からもう1ヶ月経ち、遠い昔の出来事のように感じているのは私だけではないのではないのでしょうか。

さて、10月の全校朝会で後期子どもたちに頑張ってもらいたいことを話しました。10月までの子どもたちの様子で、呼び捨てやあだ名で呼んだり、言葉遣いの荒さが気になっていました。

そこで、「どんな理由があっても人の嫌がることをしたり、いじめをしたりすることは絶対にしてはいけないこと」と「人はそれぞれ感じ取り方が違うので相手の気持ちを考えること、人を大切に思いやること」について、越塚 勇人（こしづか はやと）さんの「5つの誓い」を話題に挙げて話しました。

越塚さんは、中学校の教師をしていた36歳の時、スキーマの事故で首の骨を折る大怪我をしました。下半身と右半身の麻痺など体に障害を残しながらも、事故から4か月で担任として現場復帰を遂げました。その時、入院と厳しい困難なリハビリの中で、自分の命があらゆるものに助けられ生かされていることや生きていることの素晴らしさに気づき、自分と他人の命が喜ぶ生き方をすることを自分自身に誓いました。それが「5つの誓い」です。

《 5つの誓い 》

- ・口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
- ・耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- ・目は、人のよいところを見るために使おう。
- ・手足は、人を助けるために使おう。
- ・心は、人の痛みがわかるために使おう。

人は一人ひとり、性格も考え方も生まれ育った環境も違います。だからこそ、相手の意見や考え方を丁寧に聴き、お互いを尊重し合うことが必要です。そのためには「口・耳・目・手足・心」の使い方を知り、周りの人へ思いやりの心をもって接することを忘れないでほしいということ、特に口は励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おうということが、子どもたちの心に少しでも響いてくれることを私は信じています。

学校・家庭・地域が連携して、子どもたち一人ひとりの人権と安心・安全を守り、健やかな成長を支えていきたいと思いますので、今後ともご理解・ご協力をお願いします。

前回から9月末までにアルミ缶の回収で得た収益は「4745円」でした。今後とも協力をよろしくお願いいたします。

芸術鑑賞会で島唄にふれて

10月17日（木）に芸術鑑賞会にケンムンの館の新元一文さんにお越しいただき、島唄をまじえながら、島唄が日常の会話や思いを歌詞にして歌い継がれてきたことを説明してくださいました。また、子どもたちが事前に作っていた詩を島唄にして唄ってくださいました。子どもたちはすっかり新元さんの世界に引き込まれ、島唄を楽しそうに歌っていました。奄美の文化を改めて知ると共に、郷土の文化を誇りに思えるひとときでした。



生活科・社会科見学へ



10月25日（金）に1～4年生による生活科・社会科見学を行いました。当日はあいにくの雨天となり、雨天計画で実施となり、子どもたちには少し残念な日となりました。1年生は学校遠足、2年生は給食センターや図書館へ、3年生は宇検の開運酒造、4年生は名瀬

のクリーンセンター等で学習を行いました。たとえ雨でも一生懸命に学習し、その後のお弁当やおやつもしっかり食べました。雨の中の遠足でしたが、学びの多い一日となりました。

11・12月行事予定

11/5（火）～11/15（金）校内読書旬間
11/8（金）～11/14（木）いい歯ニッコリかごしま週間
21日（木）火災を想定した避難訓練
22日（金）学級PTA及び校納金口座引き落とし説明会
27日（水）～28日（木）6年修学旅行
29日（金）6年休養措置日

12月・・・校内人権月間
12/14（土）校内持久走大会
12/24（火）2学期終業式



県民週間に大勢の来校者

11/1（金）～7（木）まで行った「地域が育むかごしまの教育県民週間」には実に377人（延べ人数）の方がお越しくださいました。皆様に学校での子どもたちの様子を見ていただき、大変嬉しく思います。ありがとうございました。本年度は、どの時間でも参観することができましたが、給食時間の参観も多く、皆様の関心の高さを感じました。期間中の主な行事は次の通りでした。



【11/6 生活科フェスティバル】 【11/7 あまたん秋祭り】

古仁屋を照らす幻想的な灯火



昨年度から始めた「古小夜とぼし」を本年度も11/1（金）に行いました。まなびポケットで確認したところ、確認が取れただけでも150人の児童と保護者が参加してくれました。ありがとうございました。各学年、図画工作科で作成した明かりを灯す作品を夜の暗闇の中で鑑賞する行事ですが、「すごく感動した。」「子どもたちの作品が素晴らしかった。」「音楽と光の素敵な空間でした。」などの反響をいただきました。

初の島口大会出演を果たしました



11/9に行われた「子ども島口・伝統芸能大会」に4年生が出演しました。総合的な学習の時間で学習してきた八月踊りを中心に、島唄や劇を披露しました。瀬戸内町の伝統を継承する学習を今後も続けていきたいと思います。